

GT FRONT PIPE 車型別装着説明書

□対応車種

車名、通称名		車両型式	
HONDA CIVIC TYPE R		6BA-FL5	
年 式	エンジン型式	製品番号	
'22/9~	K20C(T/C)	145-H003	

□構成品内容

No.	パーツ名	サイズ	数量	No.	パーツ名	サイズ	数量
①	アベックスフロントパイプ	専用品	1	⑥	ワッシャ	M10用	6
②	ガスケット	専用品	1	⑦	取扱説明書		1
③	ガスケット	PCD90-95 Φ65.5	1	⑧			
④	ボルト	M10×P1.25×L30	3	⑨			
⑤	ナット	M10×P1.25	3	⑩			

□アベックスフロントパイプの装着方法

1. 装着図を参照して、フロントパイプを装着し、各ボルトとナットの仮締付けを行ってください。
※装着図のボルト、ナットは複数の場合省略してあります。すべて取付けてください。
2. マフラーの位置関係や自動車の床、クロスメンバ、その他の周辺部品とのクリアランス及びフランジ間のガスケットのずれを確認しながら仮締付けしてあったボルトとナットを前側から順番に指定トルクで締付けてください。

締付けトルク

M10 43~55N・m(4.4~5.6 Kg・f)

3. テールパイプと自動車のバンパの位置関係、クリアランスを確認してください。不具合があったら最初から締めなおしてください。クリアランス不足を放置すると異常な音が出たり、樹脂バンパの場合熱で溶けることがあります。

注意

特にブレーキ関係、燃料関係、駆動関係及び電気関係の配線とのクリアランスには、細心の注意を払ってください。

注意

フロントパイプの取付によって、ターボの最大過給圧が上がることがあります。過給圧が上がるとエンジンを破損する原因となりますので、フロントパイプ装着後は必ず過給圧の確認及び設定を行ってください。

□アベックスフロントパイプの装着状態の確認

1. 全体の取付けが完了したら、もう一度マフラーを手で揺さぶって各部のクリアランスを確認してください。
2. エンジンを始動して暖機し、約2,500回転にして各フランジからの排気漏れ、各部の異常音を点検してください。
3. 試運転して再度、各フランジからの排気漏れ、各部の異常音を点検してください。
4. 1~3の項目に異常があったら、面倒でも最初から装着をやりなおしてください。
5. 200km~300km走行後、各部に緩みがないか点検し、増締めを行ってください。

